

(1)「遠隔授業」の形態

①教材・課題提供型授業

授業担当者がパワーポイントや PDF ファイル、事前に録画した動画などの教材をインターネット上に提示し、学生が随時アクセスして、学修指示に基づき学修を進める方法です。学生はリアルタイムで授業を受講するのではなく、一定期間の中で学修、課題作成、課題提出等を行うものです。

「遠隔授業」の方法で、最もシステム操作が簡単な方法です。

②オンライン型授業【一方向の講義形式】(リアルタイム)

リアルタイムで授業動画を配信し、時間割どおりの曜日・時限で講義型の授業を動画配信して行うオンライン型の授業です。授業実施にあたっては、システムでの事前準備が必要で、システム操作については、ある程度の知識と慣れが必要になってきます。

なお、授業担当者および受講生自身で Web カメラやマイク等を準備できることが前提です。

③オンライン型授業【双方向の授業形式】(リアルタイム)

リアルタイムで授業動画を配信し、時間割どおりの曜日・時限で双方向でのコミュニケーション型の授業を遠隔で行う方法です。授業実施にあたっては、システムでの事前準備が必要で、システム操作については、ある程度の知識と慣れが必要になってきます。

なお、授業担当者および受講生自身で Web カメラやマイク等を準備できることが前提です。